



制度〈基本〉

運用・商品〈基本〉

運用・商品〈実践〉

その他

DC運用のキホンは「分散投資」

「運用」と言われると、リスクのある商品に投資するのは、「難しそう」「怖い」と感じる方もいるかもしれません。しかし、リスクと付き合いながら安定したリターンを得るための方法があります。それが、「分散投資」の考え方です。

※リスクとは、値動きのブレ幅のことを言います。



「分散投資」には次のような方法があります。

銘柄の分散

例えば株式投資で1つの銘柄だけに投資した場合、その会社の業績悪化や事故等で株価が大きく下がってしまうこともあり得ますが、複数の銘柄に分散して投資していれば、1つの銘柄の値動きによる影響は軽減されます。

銘柄A 銘柄B 銘柄C 銘柄D

資産の分散

預金、債券、株式等、値動きの異なる複数の資産を組み合わせることで、1つの資産に投資する場合よりも、全体的にリスクを低く抑えることが可能です。

預金 債券 株式 等

地域の分散

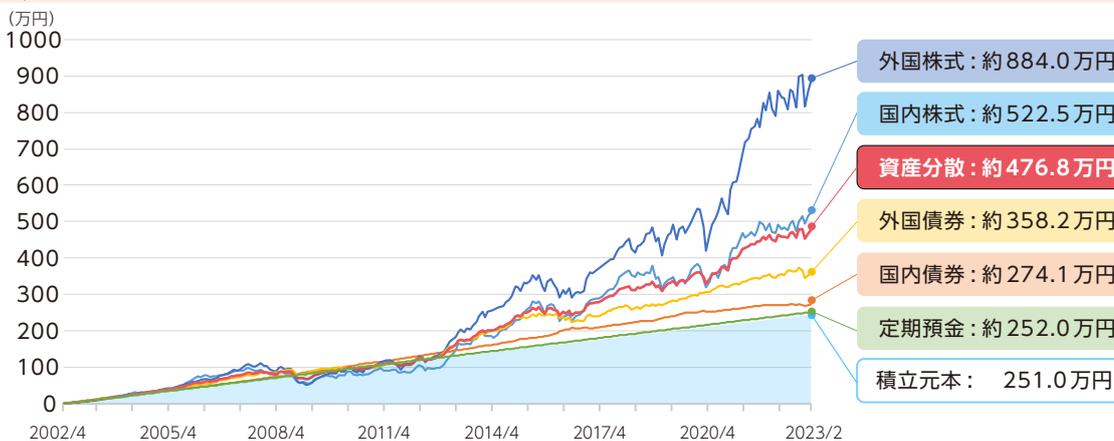
複数の異なる国（通貨）の資産に分散して投資することで、日本国内の資産のみに投資する場合よりも、リスクを抑えることが可能です。

¥ \$ € ...

時間の分散

投資するタイミングを分けることで、一度にまとめて投資する場合よりも、リスクを抑えることが可能です。

実際に2002年4月から毎月1万円積立を行っていた場合を見てみましょう。



※運用における手数料・税費用等は考慮しておりません。また、グラフは過去に運用を行ったと仮定してシミュレーションしたもので、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

※資産分散は、国内債券、国内株式、外国債券、外国株式に均等に投資を行ったと仮定して計算しています。

いずれの資産で積立を行っていた場合も、長期ではすべてプラスリターンとなっていますが、分散投資を行っていた場合は、株式のみで積み立てていた場合に比べ、大きな下落を回避して、ブレ幅を抑えた安定した運用ができています。

● 確定拠出年金での運用なら、自動的に時間の分散ができます。投資信託商品を利用すれば、銘柄の分散ができます。

★ 運用の考え方に関しては、「リそにゃ」とまなぼ! 2023年3月号「長期・積立」なら、運用はこわくない!」も併せてご覧ください。



“リそにゃ”とまなぼ! は 毎月発行しています。

バックナンバーはこちら
からご覧いただけます。



<https://www.resona-tb.co.jp/401k/pop/channel/oshiete/>

2023年4月発行

リそな銀行 信託年金営業部
DC運営管理グループ

〒540-8607 大阪市中央区備後町2-2-1

本レターに関するお問合せ先

リそな銀行 確定拠出年金コールセンター

☎ 0120-401-987+「2#」

本レターの無断引用・転載はお断りします。